

会 議 議 事 録

					記録者 武田
供覧	教育長	教育部長	課長	課長補佐・GL	グループ員
件 名	令和4年度 第2回 龍ヶ崎市図書館協議会				
日 時	令和5年2月6日(月) 午前10時00分～午前11時				
場 所	龍ヶ崎市立中央図書館2階 鑑賞室				
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課				
出席者	<p>【委員】 高橋幸一，太田垣淳一，椎塚俊裕，菊地義正，芳住久江，菊池義信，飯倉正幸，所洋子，佐藤美津子，木内敦子，石嶋照幸，長谷川智子，遠藤清次郎，堀端克久(委員14名)</p> <p>【図書館】 米川館長，佐久間副館長，栗井窓口責任者，榊原窓口責任者，今井分館責任者，泉支援担当</p> <p>【事務局】 国松課長，山西課長補佐，記録者</p>				
傍聴人	有 1名				
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 課長あいさつ 3 事務局の紹介 4 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 龍ヶ崎市立中央図書館及び北竜台分館の令和5年度事業計画案について 5 閉会 				
事務局 (山西)	(開会)				
事務局 (国松)	(あいさつ)				
事務局 (山西)	(事務局紹介)				
事務局 (記録者)	<p>会議の議事進行については，龍ヶ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第25条第1項の規定によりまして，委員長が会議の議長を務めることとなっておりますので，石嶋委員長に議長をお願いいたします。</p>				

議 長	(議事録署名人として、遠藤委員を指名) (各委員「異議なし」)
議 長	会議の傍聴を希望している方が1名いらっしゃいますので、許可したいと思います よろしいでしょうか。 (各委員「異議なし」) (傍聴人入場)
議 長	それでは、議事に入ります。 委員の皆さまから寄せられた事前質問について図書館から回答いただき、その 後、議題であります「龍ヶ崎市立中央図書館及び北竜台分館の令和5年度事 業計画案」について説明をお願いしたいと思います。
図書館 (米川)	(事前質問の回答) (配付資料に基づき事業計画案を説明)
議 長	図書館からの説明が終了いたしましたので、質疑に入ります。委員の皆さま には、挙手をいただいたうえで、ご質問やご発言をお願いいたします。
遠藤委員	資料2ページの電子図書館の充実のところで、いくつか質問させていただき ます。1つ目は、どのような年齢層が利用しているのか。2つ目は、どのよう な書籍の利用が多いのかです。その結果によって、今後の電子化の方向性が見 えて来ると思います。事前質問を行えば良かったのですが、この場での質問に なっていましたので、資料がなければ、後日の回答でも結構です。 また、11月28日の読売新聞に記事があった、全国学校図書館協議会の学校読 書調査の結果では、小中高生は、電子書籍より紙の本の方が読みやすいと感 じる傾向がまだまだあり、特に、物語や小説などのしっかりと内容を読む本に ついては紙の方が望ましいという状況のようです。 3つ目ですが、このような中で電子図書館を充実するのは、難しいところも あると思いますが、どのような方向性で進めていくのでしょうか。例えば、取 手市では、雑誌や週刊誌で電子化を行っていて反響があるようですし、高齢者 にとっては文字を大きくするメリットがあり、需要があると思います。
図書館 (米川)	利用されている書籍については、統計を取って後日回答いたします。また、 電子図書館は、図書館カードの利用登録とは別で運用していて、電子図書館の ID自体には、年齢等の個人情報が登録されておりませんので、利用している年 齢を把握することはできません。
遠藤委員	図書館カードとは別なのですね。年齢毎の要望を把握できると思いました が、残念です。
図書館 (米川)	将来的に、電子図書館サービスを提供している業者と調整をして、図書館 カードとの連携が可能になることがあれば、利用年齢層がわかるようになると 思いますが、現在はできませんのでご了承いただきたいと思います。
遠藤委員	子どもに対してか、図書館に来るのが大変になるようなある程度の年齢の人 なのか、どのような書籍に焦点を合わせていきますか。
図書館 (米川)	そのことも含め、先ほどの3番目の質問、充実の方向性についてお答えいた します。 現在、図書館が力を入れているのは、市広報紙りゅうほ一の電子化です。創 刊号から、電子図書館で読めるように事業を進めています。創刊号を実際に手 にして見る機会はありませんが、電子化することで、誰でも手軽に 見ることができようになります。また、英語の読み上げ機能がある電子書籍も ありますので、このような電子図書館のメリットを活かした資料を充実させて

	いきたいと考えています。
伊東委員	りゅうほーには歴史のコーナーなどがありますので、単にりゅうほーそのものを載せるのではなく、記事をシリーズとしてまとめて載せたりすると、読む人が増えるのではないのでしょうか。
議 長	遠藤委員のお考えとしては、ターゲットを絞ったうえで電子書籍を広めていくべきだというご意見でよろしいですか。
遠藤委員	はい。
菊地委員	今年、郷土資料はどのくらい集めたのですか。直ぐに数字が出てこないようでしたら、結構です。 先ほど、1階の郷土のコーナーを見ていて思ったことなのですが、散歩をしていると、昨日あったものが無くなっていたりします。なくなったものは、どんどん忘れられます。あるものを集めるのではなく、こちらから取材に行くような、例えば何十年の間、移り変わるものを定点観測して記録するとか、昔の小学生が考えていたことを今の小学生が考えていることと比べるテレビ番組を見ましたが、そのような取組みができるとう良いなと考えました。以上です。
議 長	そのような思いがあるということで、回答は必要ないということで、よろしいのでしょうか。
菊地委員	はい。
芳住委員	図書館で古くなった本を一般の方に差し上げていますが、廃棄になってしまった本が必要な時は、リクエストすればまた購入してもらえるのでしょうか。
図書館 (榊原)	本は、毎年購入して増えていきますので、全ての本を保存しておくことはできない状況です。相互貸借制度ではほかの図書館から借りることを視野に入れ、本の状態を見ながら古くなった本を廃棄しています。廃棄した本は、リサイクルブックとして市民の方にお分けしています。昔読んだ本で、図書館にない本については、相互貸借を利用いただければと思います。
芳住委員	廃棄する本を、電子化することも考えられますか。
図書館 (米川)	電子書籍は、図書館が作るものではなく、出版社が作ったものを購入しています。本には著作権がありますので、図書館の本であっても勝手に電子化することはできません。
議 長	ほかに、ご意見はございますか。
遠藤委員	新聞記事で、学校図書館の図書購入予算が少なくなっているという報道がありました。市内の学校図書館の購入状況については分かりませんが、学校図書館の本を補うという観点で、学校図書館と図書館の連携については、どうお考えですか。
図書館 (米川)	まず、学校で本を購入する際の参考資料として、図書館で購入した新刊リストを市内の学校図書館に配布しています。リストを見て、図書館から借りられる本については購入を見送ることもあると思います。次に、学校図書館からレファレンスの依頼を受けて、本の配送を行っています。貸出する本を準備している際に、そのジャンルやテーマの本が手薄だなと思った時には、本を買い足して学校に貸出すこともあります。また、学校図書館の支援事業として、学校

	図書館からのリクエストに応じて、年間 100 万円分の本を購入しています。
遠藤委員	イベントについて、お聞きいたします。一般の団体に向けて、講座開催等のために施設の貸出をしているのでしょうか。
図書館 (米川)	図書館の事業として講座を企画し、外部の講師をお願いして開催していますので、図書館事業に協力していただくという形でしたら、お受けできると思います。単なる会場の貸出はしていません。詳しいことは、別途、ご相談させていただければと思います。
議長	他にご質問がないようでしたら、「龍ヶ崎市立中央図書館及び北竜台分館の令和5年度事業計画案」について承認したいと思います。よろしいでしょうか。 (各委員「異議なし」) それでは、承認いたします。図書館には、会議の意見を今後の運営に反映していただきたいと思います。
事務局 (山西)	以上で、令和4年度第2回龍ヶ崎市図書館協議会を閉会いたします。
	令和5年2月6日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 議事録署名人 議事録署名人